



曾谷の風

学校教育目標「『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち」

東国分爽風学園
市川市立曾谷小学校
校長 田部井 伸郎

→爽風学園ブログはこちら

→「爽風だより」はこちら

→学校ホームページはこちら

曾谷っ子の合言葉

「元気・本気・勇気」～3つのキを育てよう～



水泳学習

蒸し暑い日が続いています。

前号でプール清掃について書きました。その翌週から本格的に水泳学習が始まっています。

そもそも水泳学習を行う目的とは何でしょうか？それは大きく2点あります。

1つは、体育の学習で行われますので「健やかな心身の発達」が挙げられると思います。水泳は、全身運動であり、心肺機能も高められ、体力づくりにはぴったりです。また浮力により膝や腰に負担がかかりにくいこともメリットです。



もう1つは「命を守る力」の育成です。自分の命を自分で守るという点においては、安全教育という大きな面があります。

さて、プールに最初に入ったのは5・6年生の高学年です。高学年の子どもたちに、学校としてのプール開きをしてもらいました。お酒と塩でお清めをして、水泳学習の安全を願いました。



次にプールに入れたのは1・2年生の低学年でした。特に1年生は学校で行う最初の水泳学習です。これからもたくさん練習して、できることを増やしていきましょう。

最後に入ったのは3・4年生の中學年です。熱中症警戒アラートが出てしまって、暑さのために中止となっていました。この日は待ちに待った水泳学習でした。

水泳中は予想以上に熱中症となりやすいので、水から上がった後はこまめに水分補給をして、安全に楽しく体力や技能を高めていきます。

「なかよし活動」始動

「なかよし活動」が始動しました。

この「なかよし活動」は、1年生から6年生までの縦割りでグループを編成し、異学年交流を図ることで子どもたちに社会性をはじめとする様々な力を育もうとするものです。

この日は、全児童 344 名を 28 グループ（各 11～12 名）に分け、予め決めておいた教室に集合しました。

そして、自己紹介から始め、考えたゲームをして、思い思いに楽しんでいました。



印象的だったのは 2 点。

まず、どの子どもたちも本当に楽しそうな顔を見せていました。

もう 1 点は、6 年生が本当によくリーダーシップを取っていました。上手に下級生を楽しませていました。グループ内に 6 年生は 1 名ないしは 2 名というリーダーシップを取らざるを得ない状況であり、「勇気」を振り絞って役割を務めた子もいるでしょう。立派でした。

この「なかよし活動」はとてもいい活動だと思います。小規模校だからこそできる強みの活動でしょう。これからも定期的に行っていく予定なので、今後どうなっていくのか、とても楽しみです。 [→学校ホームページ記事](#)

「曾谷小応援隊」の活動

子どもたちの学習に、地域住民の皆さんボランティアにお手伝いしていただくことによって教育効果そのほかを高める活動が「曾谷小応援隊」です。昨年度の立ち上げからたくさんの学習のお手伝いをしていただきました。

17 日（火）と 24 日（火）の 2 日間にわたり、5 年生の家庭科で「手縫いボランティア」をお願いしました。

初めて家庭科で裁縫の学習をする 5 年生。針に糸を通すこと、玉結び、玉止め、波縫い、本返し縫いなど、初めて学習する子どもたちにとっては難しいことばかりです。担任 1 人で指導するにはあまりにも大変ですので、お手伝いいただき本当に助かりました。ありがとうございます。



子どもたち、教職員が喜んでいるのはもちろん、ボランティアをしてくださった地域住民の皆さん「子どもたちと学習できて嬉しかった」「また呼んでください」と言ってくださるのが嬉しい限りです。



また、18 日（水）の 1 年生の水泳学習では、「着替えボランティア」をお願いしました。

水泳自体は、ご家庭でも、保育園や幼稚園でも経験してきています。しかし、場も変わり、指導するのが担任だけではどうしても目が行き届かないことがあります。

そこで着替えのお手伝いをしていただきました。こちらも本当に助かりました。ありがとうございました。